

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	(事業所と地域の付き合い) ・地域の社会資源として、もっと積極的な取り組みを行っていかねばいけない。	・地域に根ざし、地域より頼られる施設を目指します。	・地域のミニデイ継続的な参加・協力 ・地域でふれあいサロンを開催したので(奇数月)その場にも参加していく。その中で、情報交換をしていき、相談なども受けれる体制を作っていく。	12ヶ月
2	49	(外出支援) ・個別外出は行っているが、本人本意のケアに繋がっているか見直さなければいけない。	・本人様が笑顔で外出できるように目指します。	・個別外出も今後も継続して実施していく。その中で本人様の希望に沿えるように家族様・本人様とよくお話をし、身体状態に合わせた外出支援をしていく。	6ヶ月
3	47	(服薬支援) ・服薬モレ、セット間違い、薬が落ちていたという事故もあるので危機意識を高めていかねばいけない。	・介護者自身が薬の重要さや副作用をしっかり理解し安心・安全に服薬支援が出来るように目指します。	・提携している薬局に依頼し薬・副作用についての勉強会の依頼をし、実施していく。また、誤薬・服薬モレがないように服薬管理マニュアルを作成し手順を職員全員が統一できるようにしていく。	6ヶ月
4	19	(本人を共に支えあう家族との関係) ・家族様とのコミュニケーションを密に図っていかねばいけない。	・家族様に安心して面会に来て頂けるように目指します。	・面会に来られた際やケアプラン作成の前によく家族様と支援の意向確認を行う。面会時は、明るく元気に挨拶し近況を必ず伝えられる体制をとる。	12ヶ月
5	27	(個別の記録と実践への反映) ・観察力を高める記録を残さないとはいけない。	・記録を第三者が見てもしっかりとその方がイメージできるような残し方を目指します。	・ケース記録の中から利用者様の喜怒哀楽を拾い出しケアプランに活かせる記録にしていく。 ・記録についての勉強会を実施していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。